

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

全国準優勝で令和3年度深谷市スポーツ栄誉賞を受賞！



深谷市リトルリーグ監督  
北原 泰二さん

将来も見据えた  
熱い思いで指導

「ようやく深谷市スポーツ栄誉賞を受賞できるところまでできました。選手たちは本当によくやってくれました。」と感慨深そうに語るのは、少年野球チーム『深谷市リトルリーグ』で監督を務める北原泰二さんです。就任当初はなかなか選手が集まらず苦労したと言います。そんなチームを立て直し、昨年はリトルリーグ野球選手権大会の全国大会で準優勝という好成績を収めました。

元プロ野球選手だった自身の経験を指導に生かしている北原さん。選手たちに、『どんなに不利な状況でも勝つ』という強い意識で取り組む大切さを伝え、負けた時も各自が何を伸ばせば良いかを明確に考えさせて、次の目標に挑みます。そのためには、選手

一人ひとりへ気配りなどのフォローも忘れません。

また、選手が練習に打ち込める環境も保護者の理解があつてこそ。保護者とコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことも大事にしています。

そんな北原さんに今後の目標を聞くと、「今後も人員を確保し結果を出すことはもちろんですが、何より選手たちが自分で『やる』と決めたことに対して、実現につながるように自分で考えて取り組む『強い意識』を育むことです。それは今後の野球以外の人生でも必ず生きてくると確信しています。」と話してくれました。北原さんは選手たちの卒団後も見据え、今後も熱く指導していきます。



▲北原さんの指導を受けている深谷市リトルリーグの選手たち

『深谷市リトルリーグ』について、詳しくは事務局(江森さん) 0990-2628-0703(3)に  
問い合わせまたはホームページ(https://www.netto.jp/fukayashi/)をご覧ください。

# 男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや  
個人権政策課 ☎574 - 6643

6月23日～29日は男女共同参画週間です！

今年のテーマは、  
『あなたらしい』を築く、『あたらしい』社会へ



深谷市では、『男は仕事、女は家庭』といった性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく、お互いを認め合い、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を目指し、『第3次深谷市男女共同参画プラン』を基に取り組みを進めています。

男女共同参画社会を実現していくためには、市民の皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。この機会に、私たちの周りのパートナーシップについて考え、みんなで『男女共同参画社会』を作っていきましょう。



▲第3次深谷市男女共同参画プラン

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

## ふっか 散歩

108 榛沢六郎成清の供養塔



◀説明によると、成清さんは鎌倉時代の武士で、重忠さんとは乳兄弟だったらしいねえ。当時の乳兄弟は実の兄弟よりも絆が深いといわれていたみたい。そのため、幼少の頃から重忠さんの補佐役として仕えて活躍したんだって。



▲この供養塔は享保8年(1723年)に建てられたものだ。成清さんは疫病に苦しむ人々を救うため、大寄八幡大神社や後榛沢の八幡大神社、東光寺を開いたんだって！

ふっかちゃんの  
つぶやき

オープンした深谷テラスパークにはふっかちゃんもいっぱいいるからみんなぜひ行ってさがしてみてねY(o0w0o)Y

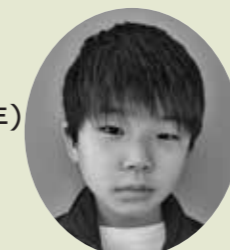


みんな『榛沢六郎成清』さんを知っているかな？  
榛沢六郎成清さんは今注目を浴びてる畠山重忠さんと深い関係がある人で、市内に供養塔があるんだって～。さっそく行ってみよう！



## 心の広場

岡部西小学校3年(現4年)  
中野 颯真さん



人権の大切さ

自分にとっての人権は、人が幸福に生き、人らしく、自分のためにある権利で、生活に必要なことだと思います。ぼくは、学校で『勇気のお守り』という動画を見て、いろいろな事を考えました。

まず、いやなことは『いやだ。』や『やめて。』と言わなければならないのだと思いました。動画の中の話では転校してきた林太郎君が身勝手な男の子にいじめられる場面がありました。それを見て、ぼくは、林太郎君が男の子にたいして、『いやだ。』や『やめて。』と言わなかったからいじめられてしまったのだと思いました。ですから、自分がされていやなことは『いやだ。』と伝えることが大切だと考えました。

次に、見て見ぬふりもいじめであると思いました。動画のちがう場面では、身勝手な男の子が林太郎君のランドセルをなげて、木に引っかけてしまう場面がありました。それを見ていた男の子は、そのいじめを見ているだけ

で、身勝手な男の子をとめられませんでした。さらにその男の子は、『用事を思い出した。』と言って、その場からいなくなりました。ぼくは、その場面を見て、この男の子も人権を守っていないと思いました。なぜなら、自分がかかわっていないから、何も悪くないという考え方は、いじめをされている側を傷つけていると思うからです。

この動画では、その後、林太郎君はいじめをことわって、勇気をもって学校に行けるようになりました。ぼくも同じようないじめをされたら、はやくことわらなければ、いじめはつづいてしまうということがよく分かりました。

ぼくは、いじめがないこと、みんなが笑顔ですごせることが人権を守ることだと考えます。

ぼくの学校では、みんなが笑顔で楽しくすごすための約束があります。それが『岡部西小みんなのちかい』です。

『岡部西小みんなのちかい』には、『自分がされていやなことは、人にもしません』や、『いやなことはいやとことわります』という約束があります。この約束を守れば、きっと学校のみんが笑顔で楽しくすごせると思います。だから、ぼくはこの約束を守ってすごしていきます。

これからも、一人一人の人権を大切に守っていきたくです。